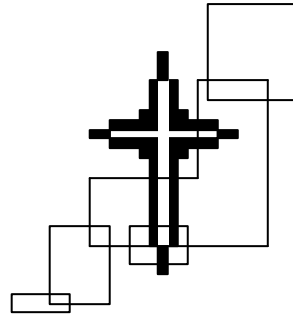


日本のための とりなし



わが国のために祈りましょう
ニュースレター 8月号
2005年8月1日発行

日本のためのとりなしの会
事務局：〒228-0802
相模原市上鶴間 6-1-17 皆川方
TEL042-747-5703
FAX042-746-2119
http://www.Christ-ch.or.jp/
*振替：00270-7-6421

委員長：皆川 尚一(神奈川県)
委員：友納 徳治(福岡県)
林田 金弥(神奈川県)
釘宮 義人(大分県)
高田和彦(東京都)
町田 誠(千葉県)
中原 耕平(千葉県)

「キリストの再臨」(第2回)

皆川尚一

「あなたの神に会う備えをせよ」
(アモス4:12)

終末の前兆

前号では、終末の前兆として、1. 戦争、2. 天変地異、3. 福音宣教、4. 反キリスト等を取り上げましたが、本号にはその続きを載せます。

第5に、わたしたちの親しい人々の中に、世の終末の変動や裁きを夢で見たという経験をもつ人が何人かいます。夢、幻、みことばによる啓示は大切ですが、慎重に吟味される必要があります。

【实例その1】

「1992年の熱風」

かってわたしの許に、1992年10月に空中携挙があるという預言の本が送られて来たことがありました。

著者は東京ニューエルサレム教会の韓国人李長林牧師ですが、題名は「1992年の熱風」でした。著者はこれまであった偽預言や外れた夢、幻などの实例を挙げて、十分慎重

にそうしたものを吟味し、真偽を識別しなければならぬと解説した上で、これは間違いないと信じられる夢や幻を紹介しています。

例えば、広明市鉄山洞の金君は、1989年2月8日の夜、夢うつつの中で天の不思議な光景を見た。1992年に大地震が発生、姉の善姫(ソンヒ)が突然消えてしまった。ある日政府の役人たちがきて家族の手に666の印を押すという。拒んだものたちは大きな圧死機に入れられて死んだが、栄光の体に甦って、天で善姫に迎えられた。という夢。

新林洞の李執事は、霊の啓示により90年から青年たちに聖霊が注がれ、91年からは主の再臨の兆候が現れ災難が生じ、92年10月には地上から天に引上げられ、11月からは聖霊が地上から全部いなくなるという示しを受けた。

京畿道広州の祈禱院長金武牧師は、誰よりも数多く霊界に往来し、しかも自己宣伝をしない謙遜な人であるが、「主は1992年10月に再臨され、その時に携挙があるんだよ」とわたしに語った。

釜山市の許執事は、1998年晴天の日雲で1992という数字が浮かぶのを見た。そのとき主が「1992年10月に私が来る」と語られた。

米国ダラスに住む10歳の少年も、主に1992年10月に再臨するといわれた。

大丘市の高神教会の張牧師は夜夢を見た。太陽と月が赤く染まり、星座が振動し、地に向かって落ちてくるのを見た。火山が爆発し、樹木が焼け、すべてが灰に変わり、荒涼となり、川は凍って氷の上に灰が落ちた。その時「92年である！ 92年である！」と大声で叫ぶ自分の声で目が醒めた。

全南の梁牧師は信徒のひとりが、92年10月28日に主が再臨し、地球上では各国で携拳が発生すると伝えてくれたと語った。

その他にも沢山の証言があるので、これは間違いのない主の示しであると多くの牧師、信徒が信じて、ソウルの教会に多額の献金や財産の献納がありました。

しかし、預言された1992年10月28日にはキリストの再臨も、携拳も起こりませんでした。こうして、李長林牧師の厳密な吟味を経た確信も間違いを免れなかったのです。

なぜでしょうか？ その答は結論に記したいと思います。

【実例その2】

韓国のS牧師は、20年ほど前東京の高層ビルディングが大地震によって崩壊する夢を見たから悔い改めよと叫んで何回も来日していますが、まだ実現していません。

【実例その3】

韓国のP婦人伝道師は、10年ほど前に北海道が二つに割れる夢を見たから悔い改めよと叫んで札幌に来ましたが、いまだに実現していません。

【実例その4】

アメリカの眠れる予言者といわれたエドガー・ケイシーは、1998年までに日本国土のかなりの部分が沈むと予言しましたが、実現しませんでした。

【実例その5】

フランスの予言者ノストラダムスは1999年7月にアンゴルモアの大王が降りて来て、人類は滅亡すると予言しましたが、これも実現しませんでした。彼が400年前に発表した「諸世紀」という予言詩は支離滅裂の順序になっていて、現代史の出来事に適用するのにいくらでも違った解釈をつける余地があり

ましたから、作家の五島 勉や出版社は「ノストラダムスの大予言」シリーズを何冊も出版してもうけまくったのでした。

こうした夢・幻・予言のたぐいが、いかにあてにならないものであるかを、

さまざまな実例を通して、わたしたちは学びました。聖霊による正しい預言はあります。しかし、偽預言のほうが遥かに多いことを知るべきでしょう。

第6に、フォトンベルトによる天変地異が問題になっています。フォトンとは光エネルギーのことで、「光子」と訳されます。元素の一番小さい状態を「原子」といい、原子の中心には陽子と中性子から出来た「原子核」があり、その周りを電子がまわっています。その電子の反粒子を陽電子といいます。そして電子と陽電子とがぶつかって光子が生まれます。

フォトン太陽からも発生し、膨大な量のフォトン・エネルギーが帯状になっている状態をフォトンベルトといいます。これは人類がまったく扱ったことのない未知のエネルギーです。これは巨大なドーナツ型をしており現在その一方の端がペガス座のメンカリナ星付近に見られます。しかし、これは通常の方法では見る事ができず、強力な多相カラー分光器で処理することによって見る事が出来るそうです。

地球は公転軌道の関係で、フォトンベルトの中に出たり入ったりしながら2012年の冬至にはスッポリその中に入ります。一番危険なのは2012年12月22日です。

その影響を列挙して見ると、

地磁気が減少しつつある。フォトンは水に溶けやすいので海流や海の塩分に変化。

22日前後丸三日間太陽光が遮断されて暗黒状態となる。猛烈な寒さに襲われる。

電気装置や自動車などに使用不能になる。

地球上のあらゆる原子はまるで電子レンジで加熱されるように、燃えることなく変容し、人体の原子構造も変化する。すべて

の生命体のボディ・タイプが変容する。

地磁気の異常によりDNAのバランスが大きく崩れ、新しいDNAを持った人類が誕生

人類は三次元の空間から、まったく新しい時間軸へ移行する。

次元上昇(アセンション)が起こる。
聖書でいう「携拳」か？

《人体に現れ出した異変の数々》

心身ともに健康であるにもかかわらず、何か胸につかえるような症状。

背中が痛む。

妙に倦怠感がある。

インフルエンザに似た症状が頻繁におきる。

めまい、心臓動悸

呼吸困難

頭痛(脳内ホルモンの分泌異常が原因)。

吐き気。激しい下痢。

極端な疲労

筋肉痛、関節痛、けいれん。

軽い記憶喪失感

耳の痛み

免疫力の低下

爪や髪の伸び方が早くなる。

フォトンベルトの影響かと思われるこうした現象がすでに色々報告されています。そのほかに、前述の電磁波兵器による人類攪乱工作、攪乱実験のようなものが、行われているのではないかという、疑惑の余地もあります。インターネットで調べてみると、そうした経験に悩む人々がふえているようです。いずれにしても、世は終末の様相をますます深めているといえるでしょう。

第7に、マヤ暦の終わりの時期が、2005年12月22日になっています。

マヤ文明はBC3世紀からAD9世紀にかけてメキシコ南部、グアテマラの熱帯雨林で栄えた文明です。マヤ人は、マヤの世界が始まった日から経過した時間を示す長期暦を作

りました。それは25,625年です。さらにそれを13バクトゥン(1バクトゥンは144,000日)で割り、五つに分けました。そして最後のカレンダーはBC3113年から始まり、2012年12月22日に終るとしています。

ところで、このマヤ暦ですが、《2012年でおわっているから、それが世の終わりを示す》というのは、一面的な見方ではないかとわたしは思います。もしかしたらマヤ人がここまで暦を作った時点において天変地異が起り、マヤ族が滅亡したから、そのあとの暦が作れなかったのかも知れません。

神に会う備え

以上のようなこの世の終わりの前兆に対して、わたしたちが神様にお会いする備えをどうしたらよいか、これが今日の課題です。

主イエス様は、再臨の時期について、「その日、その時は、だれも知らない。天の御使いたちも、また子も知らない、ただ父だけが知っておられる」(マタイ24:36)と語り、「だから目をさましていなさい。いつの日にあなたがたの主が来られるのか、あなたがたにはわからないからである」(同42節)と命じられました。ですからわたしたちに出来ることは、年月日を特定することではなく、終末の前兆を見て、目をさまし、聖霊で満たされて、霊性を高め、何時死んでも良いように準備しつつ、今与えられている人生を信仰と愛と希望によって生きることです。

このような簡単明瞭な結論を出すならば、なぜこれまで色々な別の見方や考え方を長々ととりあげたのかと、疑問に思う人もおられるでしょう。そのわけは、上述の色々な見方、考え方に囚われて簡単明瞭な真理を見失いそうになる人々が多いからです。いつもイエス・キリスト様のみ言葉に目を留めてゆるがず、目覚めて生きて行きたいと思います。

アアメン

地域別とりなし祈禱会

1. 北海道

札幌市 : キリスト公会 札幌グレイス教会 皆川尚一牧師
〒001-0032
札幌市北区北 32 条西 5-3-27
TEL 011-717-1801

2. 岩手県

水沢市 : ザ・リバイバル・東北祈りの家 高橋範明
〒023-0813 水沢市中町 26 レストラン・プレイズ
TEL 0134-62-3561 毎月第3日曜日 午前7時00分

3. 埼玉県

蕨市 : 蕨とりなし祈禱会 鷺谷世嗣兄
〒335-0003 蕨市南町 3-3-12
TEL0484-42-0967 毎月祝祭日午後2時

4. 東京都

東京都内 : 東京中央とりなし祈禱会 皆川尚一牧師
* 会場 早稲田奉仕園セミナーハウス(東京都新宿区西早稲田 2-3-1)
* 連絡先 〒228-0802 神奈川県相模原市上鶴間 6-1-17 皆川尚一牧師
TEL042-747-5703、FAX042-746-2119 毎月第4月曜日午後6時30分~9時

東京祈禱会 山浦もと姉
* 会場 キリスト教婦人矯風会館 B - 1(新宿区百人町 2-23-5)
* 連絡先 〒350-0812 埼玉県川越市下小坂 612 主の園 3-25 山浦もと姉
TEL0492-34-7049,FAX0429-31-5552 毎月第1月曜日午後1時30分

5. 神奈川県

相模原市 : キリスト公会相模大野教会 皆川尚一牧師
〒228-0802 相模原市上鶴間 6-1-17
TEL 042-747-5726,747-5703 FAX 746-2119
URL <http://www.Christ-ch.or.jp/>
毎月第2木曜日午前10時15分

6. 長野県

小県郡 : 丸子町キリスト教会 松吉理枝子牧師
〒386-0404 長野県小県郡丸子町上丸子川原 1710 - 1
TEL 02684-2-5264 毎週水曜日午後7時30分

7. 静岡県

静岡市 : リビングウエイ・チャーチ リッキー・ゴードン師
〒420-0841 静岡市上足洗 4 丁目 6-16-7
TEL 054-248-4058 毎月第1日曜日午後2時

8. 京都府

京都市 : キョート・プレイヤーグループ シスター・ローズマリー・バス
〒604-8006 京都市中京区河原町三条上ル カトリック会館 3F
TEL 075-781-3330 毎週火曜日午後7時 英語の祈禱会

9. 兵庫県

高砂市 : 日本キリスト教団 高砂教会 手束正昭牧師
〒676-0015 高砂市荒井町紙町 1-34
TEL 0794-42-4854 FAX 42-4878 毎月第4水曜日午後9時30分~12時

10. 福岡県

福岡市内 : 伊都キリスト教会 友納徳治牧師
〒819-0167 福岡市西区今宿井尻 12-4-1
TEL 092-807-9080、FAX 807-2298 毎月第3水曜日 7時30分

11. 大分県

別府市 : フルゴスペル イエス・キリスト教会 永野誠治牧師
〒874-0933 別府市野口元町10-1
TEL & FAX 0977-26-3692
e-mail: fg.jesus@poppy.ocn.ne.jp
毎週金曜日午後7時30分



2005年8月号祈りの焦点

(1)継続的課題

1)公明党が連立政権から外され、政界におけるその勢力が著しく減退するように。

又、自民党が見識を取り戻して創価学会に頼らなくなるように祈りましょう。

〔解説〕

* 昨年政界から引退した元参議院議員平野貞夫(民主党)は、その著「公明党・創価学会の真実」(2005年6月25日講談社刊)において、概略次のように述べています。「4月24日の衆議院福岡第2区補欠選挙で、小泉純一郎首相補佐官の山崎拓氏が当選した。これは創価学会の集団投票の強要による支援のおかげであった。山崎氏はその代償として、これまでの学会批判を詫び、これから創価学会と異体同心となることを誓った。人間としての信条、政治家としての理念を創価学会に売って、票を買い、当選したのである」(p. 1)。

2)カルト集団からの脱会者がキリスト教会に来て救われるように。

* 物見の塔エホバの証人、モルモン教、聖神中央教会などのカルトのマインドコントロールから、捕われた人々を救済するには、脱会者の働きが有効であると思われます。。

3)天皇陛下が主イエス・キリストに在って救われ、大いに祝福され、その祝福が遍く日本国民の上に及びますように。また、天皇陛下が世界の諸国民の中にあって、祝福の基として用いられますように。そして、国民が天皇陛下を先達として理解し、尊敬して、国際平和のためにつくすように祈りましょう。

【解説】

* 天皇・皇后両陛下のご健康が守られ、皇室を内部から崩壊させようとしている創価学会勢力に対して毅然たる態度で伝統を守ることが出来るように。

* 筑波大学の中川八洋(やつひろ)教授はその著「皇統断絶」(2005年5月1日・ビジネス社刊)において、「もし愛子内親王が天皇に即位すれば、皇統は断絶する。これは巧妙な天皇制廃止運動であり、「養子論」も「女性宮家論」も同じ結果になる。小泉首相の設けた諮問機関である「皇室典範有識者会議」は、その大半が皇室典範を議論するのに適さない人々であり、その主導権は内閣官房や、内閣法制局の左翼的官僚が握っているので、即時解散するか、辞任すべきである」と論じています。傾聴に値する論説だと思われます。

4)互いに批判し合い、反目し合ってきたキリスト教会とユダヤ人、カトリック、プロテスタント、そしてペンテコステ、および各教派・各教会の間に、悔い改めと和解が起るように。

【解説】

世界教会会議(WCC)は5月9日～16日までギリシャの首都アテネで、「聖霊よ、おいでください いやしと和解を！ 和解といやしの共同体となるようキリストに招かれて」をテーマに第14回世界宣教・伝道会議を開催、オブザーバーを含めて100カ国以上から約700人が参加しました。ご存知のように、WCC, NCC(日本キリスト教協議会), KCC(韓国キリスト教協議会), CCC(中国キリスト教協議会)はいずれも、新左翼的流れの中にある団体です。

5)キリスト教のインターネット伝道が進展するように祈りましょう。

〔解説〕

* 戸別訪問やビラ配りがかなり社会的に制限を受けてきた反面、ホームページやEメールを通じてのインターネット伝道は、ますます進展する見込みがあります。

* ただし、教会のホームページにおいては、「チャットと掲示板」のコーナーは作らない方が賢明かと思われます。

6) TV・ラジオ・新聞・雑誌関係者たちがおごりと偏った報道や人権無視の取材を止め、神を畏れたフェアな在り方をするように。これらに気付いた人が抗議や訂正の声をあげ、日本の見張り人の役を果たすように祈りましょう。

〔解説〕

* 今年に入ってから、新聞・テレビの刑事犯罪報道の中で、成人の加害者・被害者の実名が報道されないケースが目立つようになりました。気がついた人は各報道機関に抗議の電話をかけてください。加害者が警察官である場合、実名がふせられている。創価学会の場合は「某宗教団体」となっています。

7) 日本に亡国の危機をもたらす少子化傾向がくい止められ、神の御心にかなった増子化対策が社会全体の祝福によって実施されるように祈りましょう。

「神は彼らを祝福して言われた、《生めよ、ふえよ、地に満ちよ、地を従わせよ》」(創世記 1:28)。

8) 日本のために祈る「とりなし者」が増えるように祈りましょう。

* 北海道から沖縄まで、あらゆる市区町村にひとりずつ「とりなし者」が起こされるように。

(2) 時宜的(タイムリーな)課題

1) 小泉内閣が神を畏れ、国民の意向を無視した独裁的な政権運営を改め、日本の独立と国際平和に役立つ政治を行うように祈りましょう。

〔解説〕

政府と公明党が提出している以下の3法案が廃案になるように祈りましょう。

郵政民営化法案は、郵政事業を国際金融資本に売り渡す道を開くため(換言すれば日本国を売るため)の法案ですから、これが参議院で絶対に採択されないように祈ること。そして逆にこれが小泉内閣の命取りになるように祈りましょう。

組織犯罪処罰法(別名、共謀罪処罰法)は、7月12日から衆議院で審議が開始されました。これも人権擁護法案と似た悪法で、「共謀」の定義があいまいです。「例えば、殺人の共謀を重ね、最後には話し合っただけの場合でも、共謀罪の対象になる」というのです(12日の衆議院法務委員会における政府答弁)。

外国人地方参政権付与法案は、在日朝鮮・韓国人が韓国籍を持ったままで、日本の地方自治体の選挙権を獲得し、公明党の票田を拡大するためのものです。

《7月28日付け朝日新聞朝刊の社説によれば、今国会に提出される予定の「人権擁護法案」の提出を自民党は見送る方針を固めたそうです。私達の祈りが聴かれたことを神に感謝!》

2) 日本国民全体の中にキリストの福音が広く深く受け入れられて行くように祈りましょう。

〔解説〕

* 井沢元彦はその著「仏教・神道・儒教集中講座」(2005年6月30日徳間書店刊)において概略次のように述べています。「日本人がキリスト教を受け入れなかったのは、根本的に受け入れられない何かが、キリスト教原理の中にあっただからだ。それは一神教だと思う。一神教は、唯一の神しか認めない。ほかの神は神と認めない。しかし、神道の根本には、すぐれたものは何でも神であるという考え方がある。この二つがぶつかり合うのだと思う」(p.

174)と。一見分かり易い解釈ですが、神道の神観念の包摂的な深みと、キリスト教の神観念の包摂的な深みについての理解が不足していると思われます。国学者・神道家であった松山高吉牧師著「神道起源」には、神ながらの道はキリスト教において完成されるという意味の事柄が述べられています。もし、キリスト教側の理解が深められるならば、日本の宣教には大いに希望があるでしょう。

3) 国会祈祷会に聖霊の導きが与えられるように。

4) 北朝鮮における金正日の独裁体制が崩壊するように祈りましょう。

〔解説〕

* このまま行けば、金正日政権が共産主義によって南北朝鮮を統一することになる恐れがあります。

5) 家庭教育が全ての教育の基盤となるように祈りましょう。

〔解説〕

* 親が子を養い、やがて子が親を養うという倫理が日本社会に回復されますように。

6) ボランティア生活が義務化されるように祈りましょう。

* 現在の学校教育施行規則では、「ボランティア生活を行おう」となっていますので、ほとんど実行されていないのが実状です。日本では、かつて旧軍隊において集団生活の訓練が行われましたが、戦後軍隊の解体とともに、そうした訓練の場がなくなり、公共の精神が失われ、青少年は自己中心的に生きるように放置されて来ました。そこで軍隊に代わる社会訓練の場として、かつて「ボランティア生活法案」が国会に提出されましたが、池田大作の「これは人間を奴隷化するものだ」という反対によって骨抜きにされ、現在のような有名無実の規則に変えられたのです。青少年の耐性を養い、国家社会、国際社会に役立つ人になろうとする意欲を養うためにも、ボランティア生活を義務化する法律の改正が行われるように祈りたいと思います。

7) 日本の農業の自給率が上向きになるように祈りましょう。

〔解説〕

* 世界の大国は皆、食料の自給化を目指しています。日本も農業大国をめざすべきです。

8) 日本の経済が上向くように。又、米国資本に邦銀や郵便事業を売り渡す小泉・竹中政権の野心が打ち砕かれるように祈りましょう。

9) 日本國憲法改正が神の御心にかなった方向に導かれるように。

10) イスラエルの平和のために祈りましょう。

* またシャルムエルシェイクで自爆テロがありました。神の介入により、平和が保たれますように。

《会計報告》(2005年4月1日～5月31日)

(単位 = 円)

収 入	金 額	支 出	金 額
献 金	61,500	交 通 費 印 刷 費 資 料 費 郵 送 費 事 務 費 振替手数料 電 話 料 会 場 費 委 員 会 費	3,720 2,577 13,300 49,890 2,110 260 13,205 11,760 1,900
小 計	61,500	小 計	98,722
前月繰越	118,217	翌月繰越	80,995
国内活動基金 収入	0	国内活動基金 支出	0
前月繰越金	15,700	翌月繰越金	15,700
国際会議参加基金 収入	0	国際会議参加基金 支出	0
前月繰越金	35,474	翌月繰越金	35,474
合 計	230,891	合 計	230,891

【献金者芳名】(順不同)

相模大野教会(神奈川県)	2回	東京中央とりなし祈禱会席上献金	2回
札幌グレイス教会(北海道)	2回		
高砂教会(兵庫)	1回		
佐藤節代(神奈川県)	1回		

【編集後記】

* 2005年8月号のニュースレターをお送りします。今回のレポートは、「キリストの再臨」(第2回)です。

* 先の東京都議会議員選挙では、投票率が低かったために、公明党の候補者が全員当選してしまいました。国民の政治不信がいかにかの現れだと思えます。

* 次の衆議院議員選挙では、国民全体の意識が高められて、投票率が100%に近づくように祈りましょう。そうすれば相対的に公明党の得票率が沈むのです。

* 小泉首相が靖国神社参拝をしてくれないと中国が困るのだという見方があります。

(ヨハネ 皆川尚一記)

《次回日本のとりなし委員会予告》 日時：2005年9月19日(月)12時 場所：キリスト公会 相模大野教会
